



さいしょうじ幼稚園

議会だより や め

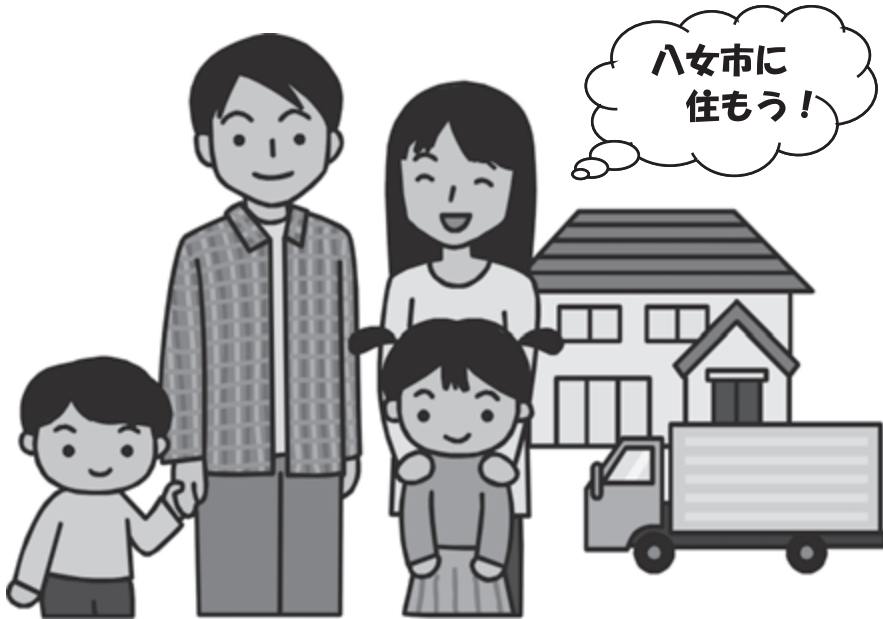
No.156 平成29年5月1日

- P 2 **29年度予算の主な新規事業は**
- P 6 **議員の定数を26人から22人へ**
- P 8 **委員会審査**
- P 10 **ここが聞きたい!** 一般質問 **11人** の議員が登壇

平成29年度の新規事業



若年世帯家賃等支援 補助事業 1940万円



若い世代の定住を促進するため、市内に転居する若年層世帯に対し、家賃や引っ越し費用を補助します。

人口減少の歯止めを期待

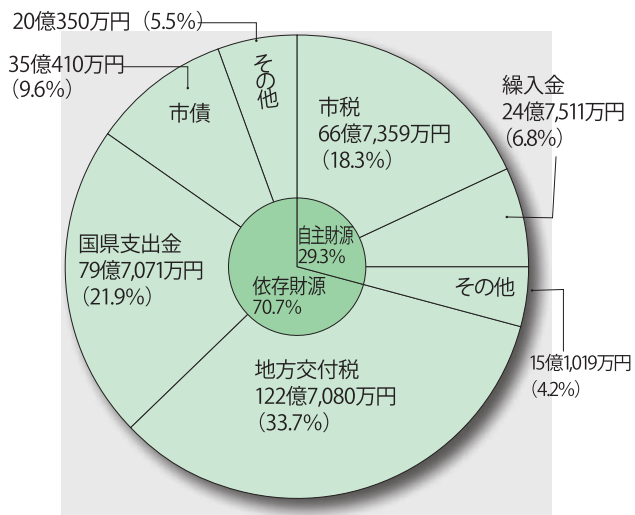
3月定例会は3月1日から3月23日までの23日間の会期で開催しました。
市長より提案された議案は、総額364億800万円の平成29年度一般会計当初予算案や条例改正案など49件で、いずれも原案どおり可決されました。また、最終日には委員会及び議員から議案が提出され、議員の定数については活発な審議をしました。
予算は予算審査特別委員会を設置して審査しました。

見据えた一般会計予算を可決

364億800万円です

▼平成29年度特別会計予算

特別会計名	歳入歳出予算額
国民健康保険事業費	113億7,258万円
簡易水道事業費	5億1,139万円
住宅新築資金等貸付事業費	205万円
下水道事業	12億7,713万円
介護保険事業費	76億7,362万円
後期高齢者医療	10億4,240万円
農業集落排水事業	7,634万円
矢部診療所	7,401万円
黒木町串毛財産区	334万円
黒木町木屋財産区	811万円
黒木町大淵財産区	2,023万円
水道事業	10億2,079万円



歳入の内訳

集落支援員設置事業 394万円



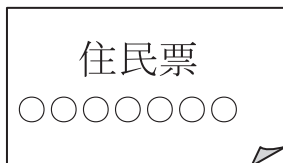
集落の実態や課題等を把握するとともに、それらを整理・活用する集落支援員を設置し、地域住民が取り組む地域づくりを支援します。

在宅支援住宅改修補助事業 200万円



要介護認定を受けていない虚弱な高齢者に対して、日常生活における転倒等による負傷等の介護リスクを軽減し、介護状態となることを未然に防止するための住宅改修補助事業を実施します。

住民票等のコンビニ 交付事業 3082万円



市民の利便性を高めるため、個人番号カードを使って住民票や印鑑証明等をコンビニエンスストアの情報端末から発行できるシステムを構築します。

北山保育所改築事業 1062万円



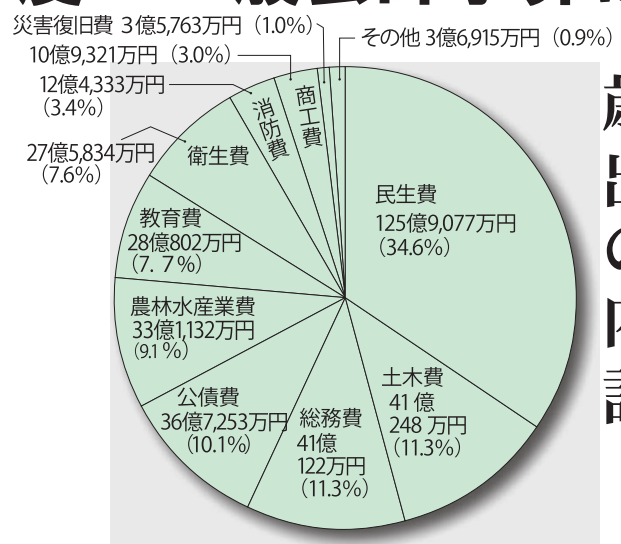
昭和53年建築で老朽化が進み、耐震性に不安を抱えた当保育所を改築し、安心・安全な環境を整え地域の保育ニーズにこたえる。平成29年度実施設計、平成30年度施工予定です。

『定住』『子育て』『高齢化』の支援を

平成29年度 一般会計予算は

歳出を性質別にみると…

扶助費	69億1,240万円 (19.0%)
補助費等	56億3,099万円 (15.5%)
普通建設事業費	52億4,267万円 (14.4%)
人件費	49億8,248万円 (13.7%)
物件費	46億1,109万円 (12.7%)
繰出金	41億7,297万円 (11.4%)
公債費	36億7,253万円 (10.1%)
その他	11億8,287万円 (3.2%)



歳出の内訳

議案審議

限られた予算

有効に 適正に

平成29年度八女市一般会計予算
について

集落支援員設置事業の内容は

問 非常にいい制度であると思う。今回はひとりを黒木町笠原地区に設置することになっている。選定の理由は。

答 北部豪雨災害後、地域が課題を抱えている中で、地域からの強い要望もあり、まず、笠原に設置させていただき、十分効果があるということであれば他の地域にも導入を検討する方向である。先行させ

て1か所だけ設置するということ考へてある。

問 今後の事業の進め方は。

答 地域ごとに課題が違う。それぞれの地域のニーズにあった人材を地域から推薦していただくなど、しっかりと検討していく。

定住対策事業の内容を問う

問 マイホーム取得支援事業補助金の内容は。

答 新築取得補助と中古住宅取得補助がある。

市内に新築等した方に対し、取得する家屋の固定資産税相当額を3年間補助する。転入、新婚、子育て世帯には一時金を加算する。

また、市内に中古住宅を購入した方に対しては、購入経費の5%を補助する。上限は10万円。転入、新婚、子育て世帯には一



時金を加算する。

問 転入者と、もともと八女市に居住している者との差は。

答 固定資産税相当額の補助は同じ。転入の場合、20万円の加算がある。中古住宅の加算額も同様である。

民生委員児童委員の活動費について

問 民生委員児童委員活動費はどのようになっているのか。

答 国からは法律に基づいて給与は一切支給されない。活動に係る経費は負担されている。費用を弁償するという意味で県と市から報償費ということで支払っている。八女市では、一人の年額は5万99900円を予算計上している。

問 民生委員児童委員の報償の負担は国はない。市長会などを通して、要望されたのか。

答 福岡県市長会総会の中で、民生委員児童委員の待遇の改善について、職務相当の報酬の支給と活動費の大幅な増額を行うことを国へ要請している。

八女市奨学金給付人数を倍増

拡充!

八女市奨学金給付人数

平成28年度	給付人数23名
	↓ 倍増
平成29年度	給付人数50名

問 非常に良い制度をつくっていただいている。給付人数23人を50人と倍以上にした経過は。

答 子育て支援に関わる目玉事業をつくった。申し込みが例年50人前後あつていた。

旧北川内小学校校舎等解体工事

問 予算計上までの経緯は。

答 平成27年にアンケートが実施された。アンケート結果を基に地元で検討された結果、解体して利活用するという方針が決定され、市へ要望が出された。これを受け、施設が老朽化していること、防犯上の観点から解体することが適当であるということにより、

問 跡地活用の予定は。

答 アンケートの結果では多目的広場、駐車場が多かった。地域住民の意見を十分に検討して跡地利用にあたる。

問 現段階では決定していないのか。

答 明確には決まっていない。

予算計上している。

黒木町のふれあい施設ほか

用途廃止へ

八女市黒木ふれあい施設条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

剣持ふれあいセンター、平野ふれあいセンター、枝折ふれあいセンター及び田代地区多目的交流センターについて、公有財産利活用検討委員会において見直しの方針が提起された。地元地縁団体等と協議した結果、枝折ふれあいセンターについては廃止、他の施設については地元は無償譲渡することに合意したため必要な改正を行うもの。

問 今回の改正では、施設の用途廃止が盛り込まれている。市は何をもって用途廃止するのか。

答 合併後、非常に多くの類似施設をかかえ、公共施設の見直しについて議

設けていない。今後検討する。

問 地元への説明は、廃止ありきではなかったか。

答 無償譲渡で受けていた。ただけるならば、施設の改修はどのくらい必要かなど協議し、譲渡するまでに予算化し、改修をしている。その後、関係機関が十分議論をし、理解をいただいたという中で、今回廃止をすする、又は地元は無償譲渡をしていくということ、整理し提案した。地元と議論をし、話がつかないところについては、指定管理施設として2年間の延長を行った。市では、公共施設等総合管理計画を策定している。今後引き継ぎ八女市に合った公共施設の適正配置を考えたかなければならない。

問 何らかの救済をしなければ施設を将来にわたり維持することが困難である。管理運営費の補助制度などは考えられないか。

答 現在はそのような考えはない。公有財産利活用検討委員会で議論はしている。今後引き継ぎ八女市に合った公共施設の適正配置を考えたかなければならない。

問 地元の切実な思いを受けて、議案の撤回、訂正の考えはないか。

答 将来の八女市のことを考え、また多種多様な課題が山積する中で、これからも非常に大きな財源が必要な新しい事業を進めていきたいと思う。

問 財政の合理化、効率化のみで用途廃止の方針が結論づけられていないか。用途廃止については、一定基準に基づき、結論を導き出すべきだ。要綱などはあるのか。

答 用途廃止の基準は、ご理解をいただきたい。

問 譲渡の場合、設備改修の条件を出されたと思うが、お願いはなかったのか。その中で浄化槽の改修要望はなかったか。

答 カーテンの取りかえなど、いろんな要望が出ているが、浄化槽の改修要望は聞いていない。

反対討論

中山間地域の市民が頼りとしてきた公共施設が消えていくことは、高齢化、過疎化が進む地域にとって追い打ちをかけるようなものである。今回の条例改正は中山間地域の元気を根本から奪う懸念があることから反対する。

高齢者交通安全講習会を実施

問 講習会の委託先と内容、高齢者に向けた対策費以外にあれば説明を。

答 講習会に関しては、専門的な知識が必要であることから委託先は市内の自動車学校を考えている。委託費の内訳は、一人当たり一回7千円強の講習費を見込んでいる。48人分の委託料を予算計

上している。全体では、高齢者に限らず交通安全の事業として、交通安全協会の負担金が大きなものである。



反対討論

辺春地区は、中学校と小学校が廃校し、平成30年には農協の支所まで廃止の予定である。辺春ふれあいセンターを廃止するどころか何らかの対策を取るべきである。

八女市辺春ふれあいセンター条例等を廃止する条例の制定について

【提案理由】

公有財産利活用検討委員会において、見直しの方針が提起されたため、関係者と協議を重ねてきた。辺春ふれあいセンター及び矢部荒茶加工施設については、指定管理者である地元団体へ無償譲渡し、それ以外の施設については廃止するため、各施設の条例を廃止するもの。



枝折ふれあいセンター

る条例案を可決

4人減

議員提出議案第1号

議員4人が、修正案を提出

【提案理由】

八女市の面積が広大なだけでなく、地域の特性も多種多様であり、議員数を減数することが良化することとは限らず、一旦削減したものは取り戻すことはできない。他市とのつり合いを考えた場合も、面積を無視できないのではないかと。ましてや、市長と議員は二元代表制と言われる中、広大な面積をもつ八女市の市民の声を行政に生かすことがますます困難になってくる。社会情勢から削減やむなしということであれば、26人から24人とする。

修正案
議員定数26人を
24人に

修正案に対する質疑〈抜粋〉

- 問 24人の具体的根拠は。
- 答 削減やむなしの声は聞こえてこないが一挙に減らさず24人に。
- 問 数値的なデータ、根拠を。
- 答 各委員会8人、3委員会で24人。
- 問 特別委員会では24人という話しは出ていない。修正案に賛同した特別委員会委員は特別委員会で発言された「現在の定数を維持し民意を反映すべき」と言うご自身の意見を覆されたものと理解するが。
- 答 特別委員会の結論が出て以降、私のほか3人が思いに賛同していただいた。特別委員会からは財政面の理由がなかった。近隣の柳川市、筑後市、みやま市等と比べても財政規模は大きく、面積も広い。予期せぬ災害発生への対応、広い面積で地域密着しなければならない。22人は足りないとの思いから24人とした。
- 問 2度の合併から7年たった今、面積のことをことさら考える必要はないのでは。
- 答 面積は考慮すべきである。かゆい所に手が届かなくなる、困るのは市民である。

修正案に対する反対討論〈抜粋〉

- ◆議員定数の方向性を見出すため特別委員会が設置され出された結論、その意義は重い。修正案が出されること自体に理解できない。
- ◆特別委員会の報告には現状維持と22人の意見しかない。議論にあがっていない24人とする案は唐突な折衷案である。
- ◆24人とする案は特別委員会でも全員協議会でも議論されておらず、道理にかなっていない。論理的、具体的な理由も示されず容認できない。

修正案に対する賛成討論〈抜粋〉

- ◇近隣市と財政的、職員数など比較しても24人で妥当。
- ◇市民と市政をつなぐパイプ役、執行機関の監視、政策立案の役割が縮小する定数削減、この合意形成が不十分であるが、現実問題として24人に賛成。
- ◇削減した場合の検証が不足している。急激に24人に減らすのは反対。八女市全体を考えると24人は必要。

修正案に賛成11人 修正案に反対14人

《修正案は否決》

議員定数を減員す

委員会提出議案第 1 号

議員定数等調査特別委員会が、議案を提出

【提案理由】

議員定数等調査特別委員会は、議員定数を 26 人から 22 人とすることが適当であることを決定した。22 人の定数は、次の一般選挙、予定では、平成 31 年の統一地方選挙から適用となる。減員の理由は、人口、面積、財政力などを考慮すると議員定数は減員の方向を示しており、同規模の市を比較調査した結果、議員定数は、22 人から 23 人が平均であること。委員会主義をとっている八女市議会の委員会は、適正人員を特に重要視すれば、一常任委員会あたりの委員数は 7 人、これに委員会に所属しない議長を加え 22 人となる。議会費の割合は、平成 27 年度一般会計決算費で 0.8%。市政に健全化を求めている以上姿勢を示すことが重要である。

原案 議員定数26人を 22人に

原案に対する質疑<抜粋>

問 定数を 24 人とする修正案が出されたが、それに対する委員長の考え方と 22 人の議案を可決していただく立場についての考えは。

答 24 人とする修正案に対しては議員それぞれの思いで判断される問題である。特別委員会としての結論 22 人を議案として提出したものである。

問 特別委員会の慎重審議は尊重する。関係資料を見ると人口と面積から数字を出しているが財政力からの検討はされたのか。

答 企画財政課からの提供資料で検討を重ね他市の状況も勘案して決定した。基本的には予算決算、当然財政力指数も勘案した。

問 委員会採決では 5 対 3 の結果、22 人となったとあるが反対 3 人の意見は。

答 住民の要求をくみ上げるためにも減らすべきでない。各自治体の条例で定めることであるから八女市は現状維持で良いなどの意見が出た。

問 地方交付税が減額されてきているが考慮されたのか。

答 あらゆる角度から検討した。各議員の考えを最終的にまとめるには採決以外にない。その結果である。

問 全員協議会で報告があったが、特別委員会の結論が出て以降もいろんな意見が出ているが。

答 全員協議会で報告した折にも意見を 2 回伺ったが、特段の問題点は聞いていない。

原案に対する反対討論<抜粋>

- ◆住民の意見を聴取する機会が激減する定数減には慎重であるべき。地域間の多様な特色・課題を解決し、市の発展につなげるためには、多様な意見・考え・知恵が必要である。
- ◆代議員としての声は多いに越したことはない。より多くの階層・地域の議員が将来を考えていく必要がある、急いで減らすべきでない。

原案に対する賛成討論<抜粋>

- ◇慎重な議論を重ねた特別委員会の結論を尊重する。議員定数削減をした自治体からその後支障があったとの声はない。
- ◇八女市総合計画に添った執行部の不断の努力がある。財政健全化を求める議会も自らの姿勢を示すことが求められている。定数 22 人で十分民意に答えることができる。

原案に賛成 14 人 原案に反対 11 人

《原案は可決》

厚生

審査の主なもの

- 平成28年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市一般会計予算 (賛成多数で可決)
- 平成29年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市介護保険事業費特別会計予算(全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市後期高齢者医療特別会計予算(全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市矢部診療所特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年請願第3号「ペット霊園設置の許可等に関する条例」の制定について (継続審査)

総務文教

審査の主なもの

- 平成28年度八女市一般会計補正予算(第5号) (全員賛成で可決)
- ・八女の森とまちによる循環型のまちづくり事業 1724万円
- 平成29年度八女市一般会計予算 (賛成多数で可決)
- ・集落支援員設置事業 394万円
- ・若年世帯家賃等支援補助事業 1940万円

集落支援員を設置

集落支援員設置事業について

笠原地区に配置する。実績等の評価、検証により、今後は他の地域にも広げていきたい。

総務省が平成20年に創設した事業で、集落の実態を把握・整理し、集落点検を行い、住民と住民、住民と行政の間に入って話し合いを促進するという大きな役割がある。

モデル的に1名を雇用

若年世帯家賃等支援補助事業について

事業の内容は、家賃補助については、実質家賃負担額の2分の1、月額上限2万円を2年間補助したい。非賃貸住宅への引越し費用補助は、

実質負担額の2分の1、上限10万円を1回限りの補助を考えている。29年度予算の件数として、家賃補助は60件、引越し費用補助は50件を見込んでいます。

若年の範囲は、夫婦については、合計年齢が80歳未満。ひとり親の場合は、中学生以下の子どもがいる40歳未満の方を対象としたい。

個人番号カードの活用を図る

申請件数及び今後の活用は、2月末現在3099件で4.75%の普及率である。平成29年度からは住民票等のコンピュータ交付を予定している。

各種がん検診の自己負担額がワンコインに

各種がん検診委託事業が拡充となっているが、28年度まではがん検診の種類によって健診時の自己負担金に差があったが、一律500円にするものがある。

浄化槽設置整備事業費補助金を増額

拡充内容の説明を。現行の補助限度額に25%の上乗せをするもの。また既存の単独浄化槽や汲み取り式から合併浄化槽に変更する場合に、1基当たり10万円の追加をする。

下水道整備区域と浄化槽設置区域の住民負担の不公平感解消できたか

概ね妥当ではないかと考えている。

ガラス・陶磁器類の分別収集はじまる

資源ごみ分別収集業委託料が倍増しているが、資源ごみ収集を一般廃棄物運搬の許可と実績を持つ業者へ変更する。またガラス・陶磁器類の分別収集を実施する。

プラスチックごみの分別収集の検討は、南筑後の自治体で研究会を発足し検討しているが、収集方法やコストが課題となっている。



建設経済

審査の主なもの

- 平成28年度八女市一般会計補正予算
 - ・農林水産業費 Δ 4億9269万円 (全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市一般会計予算 (全員賛成で可決)
 - ・道路河川愛護活動報償金 1000万円
 - ・バイオマス事業費 3034万円
 - ・県営中山間地域総合整備事業負担金 7110万円

問 本年度の予算と一行政区の限度額は。

答 本年度の予算と一行政区の限度額は、道路河川愛護の推進及び制度の説明により、啓発、浸透しているため、本年度は全行政区申請したところの1千万円で計上している。限度額については、5万円とし、問題点、改善点があれば次年度検討する。

問 木質バイオマス発電事業導入検討業務委託料の内容は。

答 木質バイオマス発電事業は、正式な地域協議会の立ち上げになる。木質原料の20年間安定供給可能量により発電規模が決まる。発電事業者場所の選定等積極的な議論を行う。

問 県営中山間地域総合整備事業で表土が石だらけのところがある。整備が不十分ではないか。

答 木質バイオマス発電事業は、正式な地域協議会の立ち上げになる。木質原料の20年間安定供給可能量により発電規模が決まる。発電事業者場所の選定等積極的な議論を行う。

道路河川愛護活動報償金について



資源ごみ回収の様子

児童保育所2か所を改築

問 岡山小学校区及び上陽北渕学園区児童保育所の改築工事の概要を。

答 岡山小学校区児童保育所は、現在のプレハブ舎と屋内運動場の間のスペースに、木造瓦葺2階建て、建築面積245㎡で計画している。

上陽北渕学園区児童保育所は、現在の小学校南側

の運動場に木造瓦葺平屋建て、建築面積114㎡で計画している。

いずれの児童保育所も、平成29年度中の竣工を予定している。

問 岡山小学校区児童保育所は、一階の空き教室を28年4月から使用している。今年の4月からは2階の教室を利用されることとだが問題はないか。

答 当初、プレハブ舎を仮

設して対応予定であったが高額のため断念した。不便ではあるが、学校と相談し2階教室を利用することになったもの。

介護保険事業費特別会計は保険給付費の伸びにより7.5%増に

問 生活支援コーディネーター業務の委託先はどこに考えているか。

答 28年度に引き続き社会福祉協議会に委託した

い。29年度は八女市全域と旧町村を単位とする日常生活圏域に配置したい。

矢部診療所に発電機を設置

問 発電機の設置完了予定はいつ頃か。

答 特注品であるが夏までは完了したい。

問 ジェネリック医薬品の利用要望はどうしているか。

答 経費節減のため利用



矢部診療所



真庭バイオマス発電株式会社
←(真庭市)

※議会だより2月号に掲載してありました「山下地区」の写真は、掲載記事と関連がなく誤りでした。お詫び申し上げます。



一般質問

月 日	質 問 者	質 問 事 項
3月6日 (月)	森 茂生	1 税の滞納処分について
		2 滞納者の生活再建支援について
	樋口 良夫	1 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27年度～H32年度）において「ひと」と「しごと」をつなぐ各項目の中での現在までの進捗状況と今後4年間における具体策について
	石橋 義博	1 人口減少と（インフラ整備、経済・雇用）問題の因果関係について
	松崎 辰義	1 子どもの貧困対策について
3月7日 (火)	堤 康幸	1 果樹農業の振興について
	小川 栄一	1 医療体制のあり方について
	高橋 信広	1 子育て支援・教育支援について
	三角 真弓	1 身寄りのない単身者が亡くなられた時の対応について
2 交通行政の体制づくりについて		
3月8日 (水)	萩尾 洋	1 企業誘致について（公有施設利活用も含む）
	樋口安癸次	1 トンネルについて
		2 雨水対策について
		3 信号機について
	牛島 孝之	1 農地法第3条の下限面積及び農振農用地の見直し（除外）について
		2 八女市の情報公開について
3 八女市の教育問題について		

差押えの対象者はどのように決定するのか



森 茂 生

答 何の反応も示されない方を滞納処分の対象者にしている

税金の滞納処分について

問 八女市が言う、法に基づかない納税緩和策とは、納付誓約書を提出した場合を言うのか。

答 そのとおりである。

問 その納付誓約書が、差押承諾書や、分割納付を認める文書になっていく。このような誓約書は、

地方税法や国税徴収法にも決められていない。滞納整理学会は違法手続き

と言っている。地方自治体は法に基づいて運営するのが原則ではないのか。

答 県の方に指導を仰いで判断する。

問 納付誓約書、あるいは



は差押えをした場合、5年の時効はどうなるのか。

答 時効は中断する。

問 他の市では、納付誓約書に時効が中断する

「民法の承認に該当する

と書いているが、八女市の誓約書には、何も書いてない。説明責任を果たしていないのでは。

答 県の情報を取り入れ判断する。

問 滞納者に対して職員の受け持ち件数は、

答 一般的に職員1人当たり300人。八女市の場合は600人近い人数を受け持っている。



樋 口 良 夫

学校統合で閉校となった木屋小学校跡地の活用をどう進めているのか

答 企業誘致の候補はあるが未だ確定に至っていない



木屋小学校跡地

就農が26人で合計して46人となっている

問 八女農高など教育現場と連携をし、新規就農者による出前授業を行い、生徒に関心と夢を与える事で、農業後継者育成を計っていく事が必要だが、

答 学生の今後の選択肢の可能性も取り上げていきたい。

創業・起業の支援

問 創業・起業する際の支援策は、

答 起業希望者に対し、経営・資金計画等の研修を2日間行い、市が認める者に上限50万円の補助を行う。2年間で32件の実績である。

問 木屋小学校跡地は、IT企業を含め誘致を検討しているとの事であったがどうなっているのか。

答 市のホームページを通じて広く募集している中で、農業新規就業者数6年間で120人とされているが進捗状況は、

答 2年間で20人、親元

人口減少とインフラ整備及び雇用・経済との因果関係は



石橋 義博

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略に於いて対処する



問 河川、道路、上下水道等については積極的に対応してあるが各地区での浸水、冠水対策が対応しきれないのでは。

答 大規模工事は難しいが、護岸整備と竣せつ等で対処していく。

問 前古賀工業団地の推進に一定の成果を上げていると聞いているが、その他で雇用対策はなされているのか。

答 現在、前古賀及び木屋小学校跡地での雇用対策を考えているが、企業からの提案を待っている状況であり、早急に対処していきたい。

問 八女市子どもの貧困対策推進計画が策定されているが、今後の推進体制はどうなるのか。

答 策定した内容を広く市民に周知をし、地域の連携により計画を推進する。その計画の評価並び確認については、子ども子育て会議が進行管理を行う。

問 貧困対策が単なる努力目標ではなく、きちんと成果を見せていくためには、基準年度の指標と最終年度の目標数値を決める必要があると思うが。

答 指標については、児童養育手当受給者の就業率とか就学援助を受けている児童生徒の割合、それに不登校の出現率などを挙げる予定である。



松崎 辰義

八女市子どもの貧困対策の基本理念は

答

「やめっこ」みんなが夢を描き、実現できるまちである



問 来年度から要保護の入学準備金が倍額になっている。これまでの例でいくと当然要保護

答 世帯も倍額になるが、これは各自治体の裁量に任されている。八女市としてはどうするのか。
答 市長部局、財政サイトとの協議も必要になってくる。試算としては、小中合わせて280万円程度の予算額になる。今後、協議をする。

発病期を迎えるナシ赤星病に対する撲滅の具体策は



堤 康 幸

答 胞子の飛散時期を把握し、適正な防除を推進する

- 問** この病害の撲滅には、及センター・JA・市の三バクシン類とナシ樹との因果関係の周知と地域の協力が不可欠である。認したバクシン類への広報活動は強化したのか。
- 答** ナシ栽培関係行政区への啓発チラシを、昨年までは隣組回覧していたが、今年度は、全戸配布とし、周知の徹底を図った。
- 問** バクシン類の植栽分布状況の把握は。
- 答** 生産者の提案で調査が実施された。この資料を基に、JA及び市の担当者で精査し、分布図を作成する予定。
- 問** 防除の前提となる冬胞子堆の現地確認は。
- 答** 分布図を活用し、普
- 問** 冬胞子堆の形成を認したバクシン類への対応は。
- 答** 所有者へ状況を説明し、排除に向け理解を求め、協力をお願いする。
- 問** 気候変動に対する振興策は。
- 答** 温暖化の影響で、八女市の中山間地域が、温州ミカン栽培の最適地へと変化している。農業移住等地域振興に可能性があると考えるが、
- 問** 中山間地の地域性を上げていく議論をし、振興方策づくりをやっていきたい。



樹齢55年の早生温州(収穫量150kg)

- 問** 公立八女総合病院は80億円の予算規模と、720名余りの職員を抱えた市内では大企業。経済面、雇用面からも、八女からなくなる、よそに移る等考えられないか。
- 答** 医療だけではなく、さまざまな分野で大きな役割を担っているのは当然だ。市への貢献度は非常に高いことは認識している。しかし、冒頭述べたように、統合の問題についての見解は、現時点ではお許し願いたい。



小 川 栄 一

- 問** 病院での治療が終わる、リハビリが済めば、在宅での介護・医療になるが、この対処法は。
- 答** 基本的には地域包括ケアシステムの充実である。
- 問** ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯などは。
- 答** 現在市内には介護療養型の施設はない。医療療養型はあるが、新たな介護療養型はあらず、新たな介護療養型を整えていた
- 問** 護険施設をつくる必要があるだろう。今後検討していく方向だ。
- 問** 今ある施設を特養に変える計画はないのか。
- 答** 現在二一三調査中で、30年度に計画作成する。



公立八女総合病院

答 現時点で公の場での見解は差し控えない、ご理解を

久留米大学から、公立病院と筑後市立病院との統合案が出ているが

大胆な経済支援策として、給食費無償化を実施してはどうか



高橋 信 広

答 現時点においては、給食費に対する支援は考えていない

問 就学前幼児に対する支援について

答 幼児教育の重要性を踏まえて、今後の支援策をどのように考えているのか。

問 保育料の軽減対策として、国の基準率17%から37%に拡大しており、次年度は更なる軽減措置を計画している。

答 国の幼児教育の段階的無償化に向けて、先がけて実行する意欲はあるのか。

問 国の方向性を十分踏まえて、子育て支援課と教育委員会が連携しながら現在の考え方で進めていく。

答 義務教育における児童・生徒に対する支援について

問 義務教育の給食費を無償化するには、財源としていくら必要か。



学校給食

問 平成27年度ペースで、約2億5千万円が必要となる。

答 給食費無償化については、基本自治体ができる。給食費無償化については、基礎自治体ができる。給食費無償化については、基礎自治体ができる。

問 貧困対策と連動した放課後・土曜日の学習支援を、行政と民間の協働で取り組むべきでは。

答 貧困対策と連動した放課後・土曜日の学習支援を、行政と民間の協働で取り組むべきでは。

問 ことごとく食堂を運営している団体の中で、食事の後に学習支援を実施している。また、社会福祉協議会で学習支援のボランティアを募集する計画があり、今後は各種団体から支援が広がる方向にある。

答 ことごとく食堂を運営している団体の中で、食事の後に学習支援を実施している。また、社会福祉協議会で学習支援のボランティアを募集する計画があり、今後は各種団体から支援が広がる方向にある。



三 角 真 弓

身寄りのない単身者が亡くなられた場合の対応をどう考えているのか

答 相続財産管理人(家庭裁判所が選任)に対処していただく

問 身寄りのない単身者の死亡の際、納骨までの対応と、家財等の残置物の処理に関しては八女市の条例等を制定し、色々なケースに対応できるように早急に図るべきではないか。

答 関係自治体の内容を参考に研究していく。

問 乗合タクシーの課題の一つに土・日曜日の運行やイベント開催日の運行があると思われるがどう考えているのか。

答 29年度からの計画をこの段階で考える。



問 公立八女総合病院へ行かれる場合、旧八女市以外の地域ではワンコインで行けるように出来ないものか。

答 地域公共交通網形成計画の中で検討していく。

問 高齢ドライバーの交通事故は八女市でも増加している。全国で75歳以上

答 上の運転免許者447万人のうち自主的に返納する方は28%しかないとされている。中山間地の交通の手段を考えれば免許証の返納への決断は厳しいと思われる。交通体制づくりを急いでほしい。

答 関係団体と協議する。

企業誘致（公有財産利活用も含む）の進捗状況は

答 定住促進・安定雇用の確保のためにも誘致活動を進めている



萩 尾 洋



パプリカ水耕栽培

問 前古賀地区に新しい工業団地を造成する事業の進捗状況は。

答 農業振興地域からの除外手続きと除外後の転用手続きを、国・県と事務協議を進めている。

問 光ファイバー網の今後の利活用は。また、旧木屋小学校の跡地活用は。

答 跡地利用については、光インターネット接続サービスを利用したオフィス系の企業を含めて、都市部と変わらない条件であることをアピールし、幅広く事業者を募集している。

問 他の公有財産の利活用は。

答 公有財産利活用検討委員会の中で全般的に協議、検討を行っている。

問 ある町では旧小学校跡地のグラウンドに、ハウスを建てパプリカの水耕栽培を本格的に始めている。地元雇用も生まれている。地元雇用も生まれ、自然環境に左右されにくく、事業の安定が見込めるという事であるが、八女市としてどう考えるのか。

答 募集要件は、1番に地元雇用が生まれると共に地元の理解が得られる、さらに八女市の発展に繋がる、といったことを判断基準にしている。

問 本路線の矢部谷峠は八女市と和水町で構成する整備促進期成会を通じ、福岡・熊本両県に要望活動を行うとともに、交流もしている。推進看板については白木地内西原交差点付近に昨年11月に設置した。今後トンネル整備に向けて、国及び県へ更なる要望活動に努めていく。



樋 口 安次

吉田交差点は、右折レーンを設けるべきではないか

答 国の改良事業で市道部にも右折レーンを設ける計画だ



トンネル整備の推進看板

問 豪雨の際、吉田地区において道路や民家の冠水が頻繁に起こっている。どのような対策を考えているのか。

答 冠水要因の一つとして国道3号線横断部の河川断面が狭くなっている部分があり、円滑な排水が行われず、冠水が発生している。

この改修については、国が実施予定の国道3号吉田交差点改良事業で改善が図られる計画である。市としては、排水処理をスムーズにするための中長期的な視点で河川改良を行い、流下能力を高めていく。

農地法第3条の下限面積及び農振農用地の見直し(除外)は



牛島 孝之

答 下限面積の決定権は農業委員会である

〈資料〉農林水産省経営局農地政策課調べ (平成27年4月1日現在)

問 下限面積を1アールに決められている自治体が八女市以外で3市3町あるが、八女市では出来ないのか。

答 島根県雲南市とか新潟県佐渡市等の先進事例については、きちんと分析をして、研究していきたい。

問 農振農用地の見直し(除外)については住民説明会は行わないのか。

答 住民説明会は設けず、公告縦覧による対応を考えた。

問 八女市の教育問題について

問 福岡県大川市の小学校での事故後、危険箇所等の点検は行ったのか。

答 事故防止の徹底を促す意味からも外部団体との連絡調整を行うことも

問 八女市独自の教育は、指導要領が示す範囲内に対応していいのかな。

答 八女市独自の教育は、

問 道徳が教科になることで日本語教育の必要性は、

故船村徹さんが「日本語はかわいそうなことになる、子どもに英語なんて教えるよりちゃんとした日本語を教えるのが大事」と言われているが。

問 道徳が教科になることで日本語教育の必要性は、故船村徹さんが「日本語はかわいそうなことになる、子どもに英語なんて教えるよりちゃんとした日本語を教えるのが大事」と言われているが。

都道府県	市町村	総面積 (単位:a)	区域
東京都	八丈町	1	全域
新潟県	上五島町	1	全域
新潟県	佐和田町	1	全域
新潟県	津和野町	2	全域
新潟県	津南町	1	全域
新潟県	南魚沼市	1	全域
新潟県	新井町	1	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域
新潟県	柏崎市	5	全域

タブレット研修を開催 ~ペーパーレス化実現に向けて~

議員報酬等の特例に関する 条例を制定



ペーパーレス化を進めるため「タブレット端末導入」を検討しています。

4月5日に八女市議会の議場でタブレット端末を使い研修を行いました。

議案や資料に必要な大量の紙資源とその作成にかかる時間とコストを削減し、タブレット端末に集約した情報を議会や議員活動に利用しようとするものです。近いうちにペーパーレス化を実現するために、研修を重ねていきます。

議員が、長期間にわたり議会の定例会・委員会等を欠席した場合に、議員報酬や期末手当の支給について不支給や支給停止とする規定がないため、議会等に出席の実績がない場合でも議員報酬等を全額支給することとなっています。

このような現状を踏まえ、近隣市及び県内各市の対応等を勘案しながら、議員としての役割や責任を強く認識し、より一層市民から信頼され市民の負託に応える議会を目指すために、八女市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例を制定しました。

主な内容は、議員が連続する2回の定例会とその間に開かれる会議等の全てを欠席した場合又は逮捕、拘束され、議会の会議等に出席できない場合に、議員報酬及び期末手当を不支給又は支給停止とすることになりました。

調査報告

バイオマス産業と

地域循環型社会の

モデルタウン

1月23日
～25日

岡山県真庭市

建設経済
常任委員会

まにわし 真庭市

バイオマス産業

杜市構想を実現

岡山県真庭市は人口約4万7千人、面積8,288k㎡の豊富な木質資源を余すことなく活用し、また、森林育成へと還元していくため、未来を見据えた長期的な「バイオマス産業杜市構想」が産学官一体となつてバイオマス産業杜市“真庭”の輪を構築、展開されていく。

八女市と真庭市の森林資源と育成活用という共通点と相違点を学習し、八女市に生かせるよう、視察を行った。

他に岡山県内企業者を訪問、「株式会社岡山製紙」「平林金属株式会社」に八女市の木材支援金の協



真庭市での研修の様子



真庭市役所本庁舎

- ・家具、内外装材などに、全て真庭産の木材を活用。
- ・庁舎内空調のためバイオマスボイラーを導入している。

八女市にどう生かす

八女市は、大半が森林であり、豊富なバイオマス資源に恵まれている。あるものを生かすという点で、バイオマス関連事業の推進は、必要不可欠である。

現在、バイオマスの利用は木質が主体であるがこの度、竹類の利用を可能にする技術が開発された。これまで廃棄物とされていたものが、資源となり、対価が付くことで、中山間地域の振興にとって、大変有益なことである。

今後、真庭市の事例を参考に、八女固有の循環型経済を構築するため、民間との連携による研究が必要と考える。

筑南小6年生が議場を見学されました

筑南小学校6年生(24人)が議場の見学をされました。

議会事務局局長より、議会の役割、ロビーでのようなことをしているかなどを説明し、質問を受けました。

問 八女市で一番問題となっていることは何ですか

答 人口が年々減ってきていること。

問 議会の議席はどのようにして決まっているのですか。

答 1番が副議長、26番が議長、ほかは、当選回数のない人から若い番号順になります。



議場で、説明を受ける筑南小学校6年生のみなさん

みなさま、お気軽にお越しください！

3月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二	
報告第1号	報告事項のため採決はありません																										
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	撤回されました																										
平成28年請願第3号	継続審査になりました																										
選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため採決には加わりません

3月定例会で審議した議案の結果

報告第 1 号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
議案第 1 号	個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の規定の整備に関する条例の制定について	可決
議案第 2 号	八女市黒木ふれあい施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 3 号	八女市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 4 号	八女市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 5 号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 6 号	八女市職員等旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 7 号	八女市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 8 号	八女市指定地域密着型サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 9 号	八女市製茶技術研修工場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 10 号	八女市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 11 号	八女都市計画特別工業地区条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 12 号	八女市辺春ふれあいセンター条例等を廃止する条例の制定について	可決
議案第 13 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決
議案第 14 号	権利の放棄について	可決
議案第 15 号	権利の放棄について	可決
議案第 16 号	財産の無償貸付けについて(旧辺春中学校)	可決
議案第 17 号	財産の無償貸付けについて(星野荒茶加工施設)	可決
議案第 18 号	財産の無償貸付けについて(星野農産物直売所 きりかぶ)	可決
議案第 19 号	財産の無償貸付けについて(星野農産物直売所 びそん)	可決
議案第 20 号	財産の無償貸付けについて(星野農産物直売所 清流)	可決
議案第 21 号	財産の無償貸付けについて(農産加工センター 星の里)	可決
議案第 22 号	市営土地改良事業の施行について	可決
議案第 23 号	平成28年度八女市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第 24 号	平成28年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第 25 号	平成28年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第 26 号	平成28年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第 27 号	平成28年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第 28 号	平成28年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第 29 号	平成28年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第 30 号	平成28年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第 31 号	平成28年度八女市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第 32 号	平成29年度八女市一般会計予算	可決
議案第 33 号	平成29年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第 34 号	平成29年度八女市簡易水道事業費特別会計予算	可決
議案第 35 号	平成29年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算	可決
議案第 36 号	平成29年度八女市下水道事業特別会計予算	可決
議案第 37 号	平成29年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第 38 号	平成29年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第 39 号	平成29年度八女市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第 40 号	平成29年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第 41 号	平成29年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第 42 号	平成29年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第 43 号	平成29年度八女市黒木町大淵財産区特別会計予算	可決
議案第 44 号	平成29年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第 45 号	八女市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 46 号	財産の減額貸付けについて	可決
議案第 47 号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第 48 号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第 49 号	教育委員会委員の任命について	同意
議員提出議案第1号	八女市議会議員定数条例の一部を改正する条例に対する修正案	否決
委員会提出議案第1号	八女市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第2号	八女市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について	可決
請願 第1号	市道酒井田線の道路拡張整備に関する請願	撤回
平成28年請願第3号	「ペット霊園設置の許可等に関する条例」の制定に関する請願	閉会中の継続審査
八女西部広域事務組合議会議員の選挙	《大坪 久美子》	当選(指名推薦)
人権擁護委員候補者の推薦について	《茅島 ひさみ 山口 尚之》	適任と認める

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

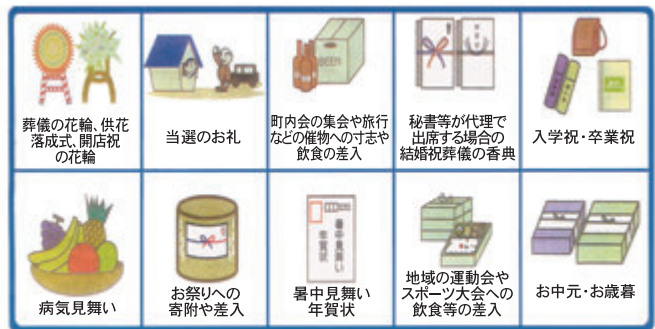
TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

こんなことは、「公職選挙法違反」です!

～贈らない!求めない!受け取らない!～



次回定例会 5月31日(水)予定 午前10時～立花庁舎議場

この誌面を、各ご家庭に届けて頂く「MONTA」は、ミカンの開花が始まります。関係者が最高に神経を遣う時期。「花見」ではなく「花視」が必要となるからです。果樹類は、花を咲かせて実を育て上げる使命があります。花の状態観察は、着果管理上の基本であり、果実の品質向上を図

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一

副委員長 堤 康幸

委員 松崎 辰義

委員 大坪 久美子

委員 中島 信二

委員 服部 良一

委員 伊井 渡

委員 高橋 信広

委員 橋本 正敏

「花見」の時節になりました。花見とは、主に桜の花を觀賞し、春の訪れを寿ぐ日本古来の風習で、始まりは平安時代。市内にも多くの名所があり、開花中はたくさんの人々に感動を与え、また地域の賑わいを創出してくれるものと期待されています。桜は、開花期を過ぎると葉を展開し、来年の開花のための準備に入ります。この準備期間に注目が集まることは殆どありません。

この誌面を、各ご家庭に届けて頂く「MONTA」は、ミカンの開花が始まります。関係者が最高に神経を遣う時期。「花見」ではなく「花視」が必要となるからです。果樹類は、花を咲かせて実を育て上げる使命があります。花の状態観察は、着果管理上の基本であり、果実の品質向上を図

「花見」の時節になりするための基礎でもあります。もの見方考え方は、人それぞれ固有のものがあります。同じものを見ても、その人の立場や持っている価値観・感性の違いによって、それぞれ異なって見えている場合が多いように感じます。

議会だよりを、読みやすく解りやすい誌面に進化させていくために、市民の皆様のご多様なご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

堤 康幸

編集後記

